

コーポレート・ガバナンス

「意思決定の迅速化」と「適切な業務執行」および「経営の透明性向上」をテーマに、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス体制

カシオ計算機は、経営目標を確実に達成し、企業価値を継続的に高めていくためには、迅速な意思決定や適切な業務執行とともに、経営の透明性を高める経営監視機能の強化が極めて重要と認識し、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。

1999年6月には、それまでの取締役24名体制を12名体制に改め、併せて経営の監督と執行機能を明確にする執行役員制度を導入しました。また、企業の社会的責任(CSR)を果たすことを経営の根幹に位置づけ、2004年12月には、CSR委員会を設置しました。

これにより取締役、監査役制度に加えて、独自の執行役員制度、内部監査制度、CSR委員会などによりコーポレート・ガバナンス体制を構築しています。

各組織の目的・役割・運営は以下のとおりです。

取締役会

取締役会は、経営の意思決定を合理的かつ迅速に行うことを目指しており、取締役および監査役の出席のもと、経営の重要案件を審議・決定しています。

執行役員会

執行役員会は、執行役員と取締役および監査役が出席し、

業務執行上の重要事項について審議し、全社的な調整や対策がスムーズに実施される仕組みになっています。

監査役会

監査役会は、2名の社外監査役を含む3名の監査役で構成し、監査役会で定めた監査方針と業務分担などに従い、取締役会および執行役員会への出席のほか、取締役などからの聴取や報告、重要事項の決議書類の閲覧などを通して、厳正な監査を実施しています。

内部監査部門

内部監査部門は、組織の運営状況を法令および組織職掌基準などの社内基準に基づいて監査を行い、評価や改善指導を行っています。

CSR委員会

CSR委員会は、社長を委員長とし、取締役、監査役の出席のもと、CSRに関する各種のテーマ設定や活動方針、推進体制などを審議しています。CSR委員会で決定した事項については、テーマごとに関連部門が中心となり具体的な活動を展開しています。現在は、「コンプライアンス」「リスクマネジメント」「個人情報保護」などのテーマに取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス体制図

